

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	14
事業名	住宅維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	8	5	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町営住宅、入居者及び入居希望者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	所管する町営住宅を適正に管理し、入居者及び住民に良好な住宅を供給する。
事業内容	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行う。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応する。使用料の完全徴収に努め、公平性を担保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			8,907		5,845		5,723		
財源内訳	直接事業費 A		6,135		3,073		2,951		
	うち一般財源		0		0		0		
人件費(千円) B			2,772		2,772		2,772		
内訳	一般職員(人・千円)		0.42	2772	0.42	2772	0.42	2772	
	臨時職員(人・千円)		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	町営住宅は住宅困窮者にとって必要な施設であることから、継続して維持管理していく必要があります。	③取組の課題	家賃の徴収について、数か月滞納する入居者がいるため、高額滞納にならないよう徴収に務める必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行う。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応する。使用料の完全徴収に努めた。	④今後の改善計画	大木団地は建築から30年以上経過しており老朽化が進んでおります。策定済の長寿命化計画に基づき計画的な維持管理を行う。